

大田市は、島根県のほぼ中央に位置する人口約3万2千人のまち。

大山隠岐国立公園のある「三瓶地域」周辺で、繁殖経営を始めたい人を募集します！

島根県大田市で

畜産就農 しませんか？

世界遺産・国立公園のあるまち！

島根県
大田市

石見銀山

就農までの流れ

就農相談

就農体験

研修

- 1 農林大学校
- 2 産業体験
- 3 雇用就農

就農
サポート会議
→ 関係者の合意

自営
就農開始

就農を希望される方と面談を行い、情報提供や各種相談を行います。

大田市へお越しいただき、ミニ就農体験や地域の生産者との関わる中で、就農へのイメージをつくります。

就農への決心がついた後、いずれかの研修先で研修を受けていただきます。

研修期間中は、定期的に県知事認定の「農業士」や担い手センターと会議を行い、営農計画の策定や技術指導を通じて、就農に向けてサポート。

求める人物像

- 大田市に移住し、肉用牛繁殖経営を目指す方
- 20歳～概ね60歳までの方
- 将来的に認定新規就農者を目指す方
- 一定の自己資金(概ね300万円)を準備できる方(研修期間が終了するまで)
- 地域活動に積極的に参加し、当市の策定した就農カリキュラムを理解している方

就農に向けた支援制度

就農準備資金(国)

就農前の研修を支援

補助金額 **150万円/年**(最大2年間)

半農半X就農前研修経費助成事業(県)

就農前の研修を支援

補助金額 **144万円/年**(最大1年間)

経営開始資金(国)

就農直後の経営確立を支援

補助金額 **150万円/年**(最大3年間)

自営就農開始支援事業(県事業)

営農に必要な機械等設備購入に対する支援

補助金額 **1/3**(最大事業費3,000万円)

※それぞれ資金・事業には要件等があり、確実な交付をお約束するものではありません。

お問合せ先

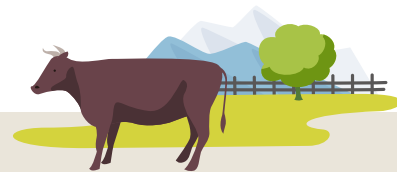
大田市農業担い手支援センター(大田市役所内)

〒694-0064 大田市大田町大田口1111

TEL (0854) 83-8091 Mail o-ninaite@city.oda.lg.jp

産地の紹介

大田市内には、約70件の繁殖農家が営農しており、和牛のオリンピックと称される「全国和牛能力共進会」に管内から5大会連続で出場するなど、県内有数の産地です。管内で生産・肥育された和牛を、「石見銀山和牛」としてブランド化に取り組んでいます。



生産者インタビュー



大國 裕紀さん

平成27年に親族内継承により就農し、現在25頭の繁殖牛を飼育しています。生き物が相手なので大変な面はありますが、手間暇かけて飼育した牛が、市場で高く評価されたときは何事にも代えがたい喜びを感じます。三瓶地域は、年齢関係なく生産者同士で相談や協力できる体制があるため、新規就農者の方のサポートも万全です。一緒に三瓶で繁殖経営を始めましょう！

大田市での就農のポイント

先輩生産者の手厚いサポート！

島根県知事認定の指導農業士の下で、新規就農に必要な技術や営農計画の策定、営農開始後も相談役として、関係機関とともに、伴走型のサポートを実施します。

体験～研修、就農まで関係者でサポート！

農業体験中のアテンド、研修中の住まいや地域との交流イベントの実施など、新規就農希望者の困りごとを、関係機関一同でサポートを実施します。



島根県立農林大学校での研修！

大田市内には農林大学校があり、肉用牛の低コスト生産技術を身に着的けるために飼料栽培実習や飼育管理を学ぶことが可能です。また、人工授精士や削蹄士の資格取得も可能です。



就農候補先の紹介

就農候補先 ①

所在地

三瓶町上山地区



経営の規模

繁殖牛40頭程度、子牛20頭程度飼育可能。
牛舎は多少の修繕は必要ですが、ほぼ居抜きで入れます。

設備

周辺に約10haの放牧場を有し、低コスト経営が可能。周辺の生産者と連携して、自給飼料の確保やダンプやローダーなど営農機械も使用可能。

所得目標

300万円

年間労働時間

2,000時間

就農候補先 ②

所在地

山口町山口地区



経営の規模

元々、酪農用の牛舎として令和5年まで使用しており、繁殖牛60頭程度、子牛40頭程度飼育可能。牛舎は多少の修繕は必要ですが、ほぼ居抜きで入れます。

設備

牛舎の周辺に5ha以上の採草場があり、低コスト経営が可能（周辺の生産者と連携して、牧草の収穫が可能）。